



2026 年 9 月 15 日
株式会社オンワードホールディングス
コーポレートコミュニケーション室

ニューヨーク・ファッション・ウィークにおいて、 J.PRESS Fall/Winter '26 Collection を発表



オンワードグループの J.PRESS INC.（本社：米国・ニューヨーク CEO：村上 潤）は、ニューヨーク・ファッション・ウィークにおいて、J.PRESS Fall/Winter '26 Collection を発表しました。

クリエイティブディレクター兼プレジデントのジャック・カールソン（Jack Carlson）による新コレクションは、アメリカ式テーラリングと英国の生地メーカーに焦点を当て、Barbour とのコラボレーションやブランドにとって 50 年ぶりとなるウィメンズコレクションも発表しました。





In Season J. PRESS FW26 Runway IMAGES: Tom Concordia/KesslerStudio @thomasconcordi

2026 年 9 月 9 日（ニューヨーク州ニューヨーク市）

J.PRESS は、2026 年秋冬コレクションを発表するとともに、シーズン中のランウェイショーを開催しました。ジャック・カールソンがクリエイティブディレクターに就任して以来 3 回目となるランウェイショーです。

創業 125 周年を翌年に控え、またジャック・カールソンがクリエイティブディレクターに就任して 1 年を迎える今シーズン、J. PRESS はそのルーツであるブリテン諸島に敬意を表します。1902 年、Jacobi Press（ジャコビー・プレス）はイェール大学のキャンパスで自身の名を冠したブランドを創設しました。彼が築き上げた「アイビースタイル」は、今日ではアメリカのクラシックスタイル、そしてニューイングランドを象徴するスタイルの代名詞となっています。しかし、その多くの源流はイングランド、スコットランド、アイルランドにあります。

「Jacobi Press はラトビアからアメリカへ渡ってきました。家族は彼をラビ（ユダヤ教の宗教指導者）にするつもりでしたが、彼はメンズウェアの世界へ進むことを選びました。彼自身は英国文化の中で育ったわけではありません。しかし、鋭い審美眼、非の打ちどころのないセンス、そして妥協を許さない基準を持っていた」とジャック・カールソンは語ります。

「1902 年当時の彼は、いわばその時代のラルフ・ローレンのような存在でした。彼はケンブリッジ大学やオックスフォード大学、そして英国の壮大なカントリーエステートに思い描いた理想の世界を形にしました。そして、そのビジョンをもとに、今日私たちが『アメリカン・アイビースタイル』として知るスタイルを創り上げたのです。」

J. PRESS は、現在でも多くのアイテムをブリテン諸島で生産していることを誇りに思っています。例えば、北海に浮かぶシェトランド諸島で生産される「シャギー・ドッグセーター」をはじめ、都市生活にもカントリーライフにも適した英国製のネクタイやアウターウェア、さらにアイルランド西岸沖の風が吹きすさぶ島々で編まれる「アランニット」などがあります。

また、Scottish cashmeres や Harris Tweeds に加え、Fox Brothers や Marling & Evans といった英国の名門が J. PRESS のために特別に生産する Cheviots や English flannels も展開しています。これらの生地メーカーとは、100 年以上のパートナーシップを築いています。

今回のコレクションでは、英国の伝統的メーカーであり長年のパートナーである Barbour、Gloverall、Lavenham とのコラボレーションも発表しました。さらに、日本製のカプセルコレクションをはじめ、多彩なアイテムをラインアップしています。



今シーズンは、1960 年代以来初めてとなるウィメンズコレクションを発表しました。

コレクションには、女性向けのオックスフォード生地ボタンダウンシャツ、シャギードッグセーター、フェアアイルニット、ブレザー、ツイード、アウターウェアなどをラインアップ。さらに、ニューヨークのブランド Alex Mill や、作家・デザイナーの Steven Stolman とのウィメンズ向けコラボレーションも展開します。

J. PRESS は半世紀以上にわたりウィメンズコレクションを展開してきませんでしたが、それでも多くの女性たちが愛用してきました。作家・評論家のフラン・レボウィッツは、自身が所有する J. PRESS のシャギードッグセーターが 4,000 着以上あると語っています。

また、1950 年代後半には、長年 J. PRESS を愛用する劇作家アーサー・ミラーの妻であるマリリン・モンローのために、J. PRESS がオックスフォードシャツを仕立てたこともありました。

「今こそ J. PRESS がウィメンズラインを再始動する絶好のタイミングです」とジャック・カールソンは語ります。

「時代の空気が変わってきているように感じます。『アイビースタイル』は今やランウェイを席卷しつつあります。間違いなく J. PRESS は、本物です。J. PRESS はアイビースタイルそのものの代名詞なのです。

それは時代を超えて愛されるクラシックな装いであり、その後のアメリカンファッションのあらゆる流れに影響を与えてきました。またそれは、より親切で、より穏やかで、より知的で、より洗練された時代を想起させるものでもあります。」

Shop Fall 2026 here: <https://jpress.com/collections/new-arrivals>

Shop women's here: <https://jpress.com/collections/womens>

Runway IMAGES: Tom Concordia/KesslerStudio @thomasconcordia

Details (Runway) IMAGES: Janice Yim/KesslerStudio @jp_yim

VIP/BTS IMAGES: Greg Kessler/KesslerStudio @gregbackstage

ABOUT J. PRESS

J. PRESS は、1902 年にイェール大学で創業した、「アイビーリーグ・ルック」の礎を築き、アメリカンスタイルの真髄を体現するブランドです。

これまでに、フランク・シナトラ、ケーリー・グラント、F・スコット・フィッツジェラルド、ロバート・フロスト、ジョージ・プリンプτονをはじめ、ルーズベルト、ケネディ、フォード、ブッシュ、クリントンといった歴代米国大統領など、アメリカを代表する数多くの著名人たちに愛用されてきました。

現在、J. PRESS はニューヨーク、ニューヘイブン、ワシントン D.C.、そして東京に旗艦店を展開しており、その卓越した品質、豊かな歴史、細部へのこだわり、そして妥協のないものづくりへの姿勢によって高く評価されています。

1986 年以降、J.PRESS INC.は株式会社オンワードホールディングスの傘下にあります。

公式サイト JPress.com

公式インスタグラム [@JPress](https://www.instagram.com/JPress)

Special thanks to our collaborators:

Creative Director: Jack Carlson

Casting: David Chen, Trevor Swain, David Chen Casting

Production: Nate Hinton, Chanel Floyd, The Hinton Group

PR: Alyssa Kane, Olivia Kane Tanner, Alyssa Kane Advisory

Front of House Press: Nate Hinton, John Huynh, The Hinton Group

Music: DJ Erok

Hair and Makeup: Aveda

Stylist: Michael Fisher

Photography: Greg Kessler, Kessler Studio

Watches: Wind Vintage

Footwear: Alden, Bowhill & Elliot, Sanders, Sebago, Paraboot

Sunglasses: L. G. R

Beverages: Loonen

Venue: Capitale